

令和2年度 宇都宮市立河内中学校

図書館だより 4月

卯月
April

進級・入学 おめでとうございます♪

新年度が明け、みなさんの元気な笑顔を見ることができました。また、107名の新入生を迎え、令和2年度スタートしています。ただ今臨時休校中ですが、是非読書で気分転換を！
今年度も図書室ではみなさんの読書・学習活動をサポートします。



図書館利用の約束

- ・開館：月曜日～金曜日（休み時間）
- ・貸出冊数：ひとり5冊
- ・貸出期間：2週間
- ・予約：制限なし
（カウンターに貸出カードを持ってきてください。）

先行予約券は、図書室にまだ入っていない本を先に予約したい時に使える券です。時々発行している先行予約本リストから先に予約したい本があったら、

※1年生の貸出はオリエンテーション後になります。

※手を清潔にして利用しましょう。

※やむをえず、本を汚したり破損してしまったりした時には、カウンターに直ぐ持ってきてください。図書室で修理します（^^）

朝の読書四原則

8:15～8:25の10分間は朝の読書タイム！
準備が整ったら、どんどん読書を始めましょう！！

- ① 全員で毎日読む！
- ② 整然と、時間を守って読む！
- ③ 好きな本を読む！（ただし、携帯小説やマンガ、雑誌は禁止です。）
- ④ 「読むこと」を楽しむ！

1年生オススの本より

「山中信弥先生に、人生とips細胞について聞いてみた」(山中伸弥)



読後、山中先生に親しみが沸きますよ。

2年生オススの本より

「さるのこしかけ」(さくらももこ)



こんな時こそ、笑ってください！

3年生オススの本より

「木を植えた人」(ジャン・ジオノ)



何十年も黙々と木を植えた男の話

朝の読書で各学年オススの本10冊も読もう！

河内学校園では、各学年オススの本10冊が設定されています。来年3月までに、是非読破しましょう♪(新着本付近にコーナーがあります。)



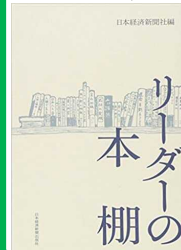
新

着

本

数冊、続編の新刊を中心に、図書室に入りました！既に貸出された本もありますので、読みたい人は予約してください。予約はカウンターで貸出カードを持って書名をいってください。

「リーダーの本棚」(日本経済新聞社)



耳にしたことがある会社の経営者50人の「座右の書」や「最近読んだ本」等の読書歴を紹介。経営者だからと言って経済書ばかりあらず！「三国志」や「そして誰もいなくなった」等、図書室にある本も紹介されています！

「父が娘に語る美しく・深く・壮大で・とんでもなくわかりやすい経済の話」(ヤニス・バルファキス/ダイヤモンド社)



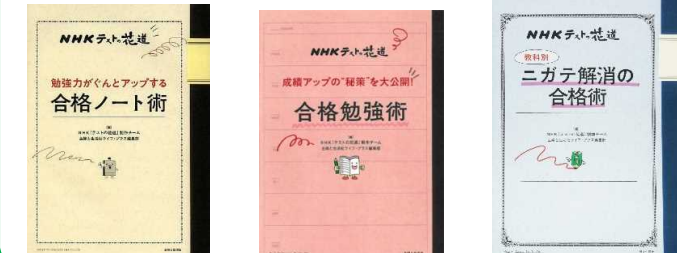
書名の通り、経済学者である父が、娘に語るよう、専門用語を使わずに「経済」について書いた本です。3年生の皆さん、是非公民の勉強を始める前に読んでください(^)ノ

「リアルサイズ古生物図鑑」(土屋健/技術評論社)



古生物を、現代風景に配置しているので、その大きさを体感することができます。オススメ現代風景コラボは、「アノマリス」が置かれている魚屋…。

「NHKテストの花道」シリーズ(主婦と生活社)



「ソードアートオンライン②」(川原礫/メディアワークス)



「文豪ストレイドッグス 太宰、中也、十五歳」(朝霧カフカ/KADOKAWA)



「やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。」6.5巻・7巻(渡航/小学館)

今月のオススメ

文豪



1909年～1948年
青森県(現・五所川原市)出身

芥川龍之介の大ファンだったと言われている太宰。講演会にも足を運んでいたとか。彼の作品に何となく暗いイメージがあるかもしれませんが、ユーモラスな作品もあります。

【参考資料】
「総合百科事典ホブリティア⑥」(ホブラ社)
「文豪図鑑」(自由国民社)
「本をもっと楽しむ本③作家」(学研)

毎月一人の文豪を図書室コーナーで特集しています。

文豪…とくにすぐれている文学者(「角川最新国語辞典」角川書店より)

今月は「太宰 治」特集。国語の教科書教材にもなっている「走れメロス」は、1940年に出版され、なんと今年で丁度80年！これを気に特集しています。少しでも気になった人、是非1作品手にしてみて！！

「お伽草子」(太宰治/新潮社)

有名な昔話、「瘤取り」「浦島さん」「カチカチ山」「舌切雀」を太宰なりの解釈を入れた創作のお話！
どんな風に解釈して話が展開するかはお楽しみ♪



「葉桜と魔笛」(太宰治/立東舎)

切なくキュンとする恋物語。療養中の妹に恋文が届くのですが…。妹を想う姉、姉を想う妹の行動に、短編ながら、驚く展開の連続。最後に謎と優しさが…



「女生徒」(太宰治/立東舎)

女子は共感！
女子の気持ちを知るならこの作品！！
中学生女子が1日の中での色々な場面で、自分の気持ちを書いています。



「若いうちに読みたい太宰治」(齋藤 孝/筑摩書房)

“はじめに”こんな1行が「傷つきやすさとプライドの間でぎりぎり心がいなまれ(中略)一度は通過する青春の悩みと似ている」読んでみませんか？

